

2018年

5月号 おおきくなあれ



岐阜市芥見大般若1丁目84番地 河村病院 病児保育園クララ

HPアドレス <http://www.kawamura-medical.or.jp>

No. 218



岐阜県感染症発生動向調査より (4月末現在)

- 感染性胃腸炎の報告が増加しています。特にロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告は、3月から現在まで多い状態が続いています。
- 沖縄県のはしかの流行に関連し、愛知県内で10人を超える麻疹患者が確認されています。初発例は沖縄旅行歴があり、その他9人は初発例と接触があった二次感染と考えられます。

※はしかは非常に感染力の強い感染症です。すでにニュースや新聞記事等で周知されておりますが、今後の情報に注意し、感染拡大防止に皆で努めましょう！

※麻疹風しんの予防接種を見直しましょう！…第一期は1歳～2歳未満の間に1回、第二期は年長時期(小学校入学前)に1回です。



これからの季節、急に熱くなったり、真夏日になったりと、気温の急上昇が見られるようになり、熱中症対策が必要になってきます。暑さに体が慣れていないので油断禁物！水分補給をしっかりとしましょう



ほのぼの日記

Hちゃん(3歳)は、今年から病児保育を利用し始め、クララ来所の際は、まだ慣れないこともあって、いつも涙顔。先日もお父さんに抱っこされて泣きながらの入室でした。ところが、翌日の来所の際は、もう涙は見られず、笑顔とまでは行かなくとも気丈な表情がうかがわれ、朝のお別れも泣かずにバイバイができました。「今日は頑張ったね！涙、どこかに行っちゃったね！」と、保育士が声をかけると、Hちゃんは…「あのね、お父さんがね、“Hちゃん、今日はお願いだから泣かないで”って言ったからね、だからね、泣かないんだよ」と答えてくれました。約束したからといって、お願いされたからといって、Hちゃんの年齢ではすんなり理解して実行できるものでもありません。それでも、大好きなお父さんからの懇願!?に、一念奮起してくれたのかな？けなげですね…頑張ってくれてありがとう。いままでは、Hちゃんが泣くと、お父さんもきっとすごく悲しかったのでしょね。…親子で一つ乗り越えましたね。



スタッフ紹介

●小児科医：山田幸子



診察中に、どんなに泣いて嫌がっても、診察が済むと、笑顔でバイバイやハイタッチしてくれる病児さんたち…。あの笑顔がたまりません。

●看護師：仲岡知子



様々な病状のお子さんの個々の病状を把握しつつ、常に、保育全体を見まわし、安心安全を心掛けたいと思っています。

●保育士：松本美智子



病気のこと、子育てのこと、何でもご相談ください。子育て真っ最中の保護者の皆さんを、病児保育スタッフは、皆、心の底から応援しています。

●保育士：宇留野里奈



病児保育の子どもたちは、みんなとっても頑張り屋さん。そんな子どもたち一人一人の気持ちを受け止め、しっかりと寄りそってあげたいです。

●保育士：後藤理恵子



今年からお世話になります。これまでの保育経験と、若さを武器に、明るく楽しい病児保育室となるよう、頑張っていきたいと思います。

●保育士：村瀬美紀子



今月は何を一緒に作ろうかな?…と、毎月の製作活動を、子どもたちと共に楽しみにしています。可愛いプレゼントも作ってあげたいです。

●保育士：大野美保子



時々お助けマンとして登場!?しています。愛らしい子どもたちと一緒にいると、気持ちが一気に若返ります。

仲岡ナースのつぶやき

雰囲気について

雰囲気が良いとか悪いとか言いますね。そもそも雰囲気とは…①科学の世界で言うアトモスフィア(地球を取り巻く空気、大気、気体など)、②その場を満たしている一般的な空気、また、その場やそこにいる人たちが作り出す独特な感じや気分、ムード…とあります。私たちが日常使うのは②の方ですね。先の冬季オリンピックではカーリング女子の選手が「そだね～」とコミュニケーションをとりながら、とても良い雰囲気をかもし出していました。職場でも家庭でもお店でも、「いい雰囲気」って大事ですね。病児さんにとって良い雰囲気とはなんととっても“家庭的な温かい雰囲気”…日頃から心がけるようにしています。

